

第3回「住民参加型行政の課題」セミナー開催

WS(ワークショップ)

座長：児玉 克哉氏 三重大学 人文学部 教授
ファシリテーター：亀山 裕美子氏 コミュニティ・シンクタンク「評価みえ」 理事・事務局長
田中 愛氏 地域開発研究機構 シニアコンサルタント

と き：2006年10月18日(水) 午後1時30分～午後4時35分

と ころ：(財)三重地方自治労働文化センター2F 自治研修室

各分野で活躍されているファシリテーターより導入の講義・提案。

個人作業の後、参加者が3グループに分かれてのグループ作業。住民参加型行政の手がかりである場づくりの演習。

課題の設定、共有、解決するのに必要なアクター、手法を研究・検討する参加型セミナー。

セミナー第3回。座長三重大学人文学部 教授 児玉 克哉氏コーディネートによりコミュニティ・シンクタンク「評価みえ」 理事・事務局長 亀山 裕美子氏、地域開発研究機構 シニアコンサルタント田中 愛氏をファシリテーターにお迎えし、参加型セミナー(WS)を行いました。

前回に引き続き行政職員、地方議会議員、地域活動者、当センター研究員など他分野に亘る参加者により、ファシリテーター提案・講義ののち、個人作業、グループワーキングを行いました。

ファシリテーター提案・講義



冒頭にファシリテーターより『NPO 法人と各種団体の違い』と題し、NPO の位置づけについて「公益的な社会貢献活動を自発的に行う」ものという定義を行い、さらに「町内会・自治会と NPO」として相互扶助的な活動が中心となるとものについては、NPO との若干の差異があることも指摘し、「諸外国の状況」、「NPO と NPO 法人と市民活動団体」、「NPO と NGO」、さらには「ボランティアとは」として組織、収益・報酬との関係、自立性・自発性、対象・目的との関係 / 評価、マネジメント、収益活動の必要性、参加に関して等について分かりやすく図解し、提案をいただきました。

オリエンテーション



セミナー後半部分では、前半の内容を踏まえながら参加者が A、B、C の3グループに別れ、最初に個人作業として「自分が社会的に問題を感じていること」を一つ考え、次にその課題に対して「自分が具体的に何ができるのか」を考え、その課題を解決するためには「どのようなアクターが必要か」を検討してもらいました。

その内容をグループ内で、自己紹介を踏まえながら自分が「課題を選んだ理由」、「取組むアクターを選んだ理由」を説明し、グループ内で話し合い、課題を共有し、さらに選定し、その課題ごとに優先すべきアクターを話し合いました。

グループ作業の内容は、グループ毎に模造紙へまとめ、グループ別に全体への発表を行うことで、セミナー全体としての課題共有、ワークショップの手法等について検討・体験していただきました。

グループワークの状況(Aグループ)



グループワークの状況(Bグループ)



グループワークの状況(Cグループ)



次回第4回は、11月29日(水)開催予定で、今回に引き続き亀山 裕美子氏及び田中 愛氏を講師(ファシリテーター)にお迎えし、「住民参加型社会の課題と手法」と題して参加型セミナー(ワークショップ形式)を行います。